

本店

〒420-8710
静岡市葵区追手町5-4 アーバンネット静岡追手町ビル4・5・6・7階
TEL.054-252-2120

浜松支店

〒430-8666
浜松市中区田町330-5 遠鉄田町ビル6・7階
TEL.053-458-1212

沼津支店

〒410-8691
沼津市米山町6-5 沼津商工会議所会館3階
TEL.055-926-0100

<http://www.cgc-shizuoka.or.jp> 静岡 保証 検索

SEASON REPORT

2015 秋

Manager's Letter

信頼の確立を目指して
相談体制の充実に向けて

平成27年度 第2四半期概況

保証承諾 保証債務残高 代位弁済

Business Report

株式会社ヤマザキ



Topics

- 外部評価委員会を開催
- 株式会社日本政策金融公庫と業務連携に係る覚書を締結
- ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2015に参加
- 無料経営相談実施中

SEASON REPORT

2015 秋

CONTENTS

Manager's Letter 1

信頼の確立を目指して
相談体制の充実に向けて

平成27年度 第2四半期概況 2

保証承諾
保証債務残高
代位弁済

Business Report 6

株式会社ヤマザキ



Topics 8

- 外部評価委員会を開催
- 株式会社日本政策金融公庫と業務連携に係る覚書を締結
- ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2015に参加
- 無料経営相談実施中



〈表紙写真〉ファイナルアプローチ
撮影者：大野 剛（焼津市）
撮影地：富士山静岡空港

Manager's Letter



指導検査室・
コンプライアンス室 室長
田辺 稔

信頼の確立を目指して

当協会は、公共的使命と社会的責任を全うする公的保証機関として、社会からの揺るぎない信頼を確立していくため、コンプライアンス態勢の強化・充実に役職員一丸となって取り組んでいます。

具体的には、統括部署としてコンプライアンス室を設置して組織体制強化を図り、コンプライアンスマニュアル等の諸規程を整備し、毎年策定するコンプライアンスプログラムに基づいて、コンプライアンス委員会の開催や役職員向けの内部研修会の実施などを計画的・継続的に行ってきました。

こうした取組みにより、コンプライアンスに関する役職員の意識は年々向上し、コンプライアンス態勢は着実に強化されてきていると自負しています。

また、指導検査室では、全部署を対象として定期的に内部検査を実施して、問題点や改善点がないかを探り、それらを指摘することによって、業務管理・運営の改善に資すること及び不正やミスの防止を図っています。

内部検査本来の意味は、ルールどおり事務が行われているかどうかを点検することであるため、細かいミスの指摘が続くことがありますが、各部署とも検査結果を真摯に受け止め、業務改善のための努力を怠らず、指摘やミスの根絶を目指しています。

指導検査室、コンプライアンス室のどちらも現場からは煙たがられる存在ではありますが、臆さず誠実に職務を遂行していくことにより、当協会の健全な発展・社会からの信頼の確立に寄与したいと考えています。



浜松支店 支店長
菅 沼 久 和

相談体制の充実に向けて

当協会では、中小企業の皆様への経営支援体制の強化が最重要課題と位置づけ、金融・経営相談体制をさらに充実させることにいたしました。

無料相談窓口を平日は9時から17時15分まで、木曜日は19時まで開設しています。

県内の景況は、緩やかな回復をみせているものの、全国に比べて回復の動きが遅れ、特に県西部地区は、海外進出や県外移転による空洞化が進み、先行きの不透明感が払拭できない状況が続いています。

そこで、浜松支店では、浜松、磐田、袋井、掛川の各商工会議所と連携した相談会を行い、創業準備、資金繰り、経営改善、事業再生など直接相談を受けることができる機会を増やしています。

ご来店が難しいお客様には、こちらからお伺いすることも行っています。中小企業診断士や経験豊富な職員がお待ちしておりますので、この機会に是非ご利用ください。

さらに経営改善計画の策定をお考えの方には、当協会が費用の一部を負担して独自に専門家を派遣し、経営診断を行う仕組みも構築して皆様をバックアップいたします。

今後も浜松支店職員一丸となり、関係諸機関と連携して、地域の皆様のお役に立てる協会を目指してまいりますので、お気軽にご来店下さい。

平成27年度 第2四半期概況



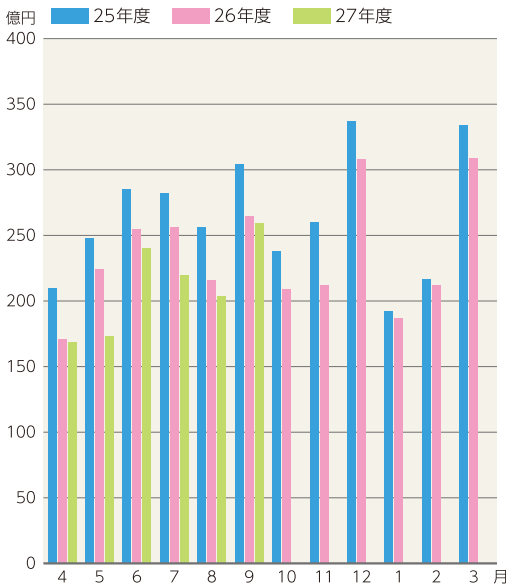
- ◆ 保証承諾は、第2四半期中は7,233件、683億円と、前年同期比で件数92.1%、金額92.6%となりました。
- ◆ 保証債務残高は157,814件、1兆2,934億円と、前年同期比で件数92.3%、金額88.3%となりました。
- ◆ 代位弁済は、第2四半期中は801件、72億円と、前年同期比で件数80.4%、金額67.9%となりました。
- ◆ 保証利用企業者数は52,927企業となり、前年同期比95.4%となりました。

		第2四半期中		年度累計	
			前年同期比		前年同期比
保証承諾	件数	7,233	92.1%	13,685	92.2%
	金額	683	92.6%	1,265	91.2%
保証債務残高	件数	-	-	157,814	92.3%
	金額	-	-	12,934	88.3%
代位弁済	件数	801	80.4%	1,600	76.6%
	金額	72	67.9%	155	70.5%
利用企業者数		-	-	52,927	95.4%

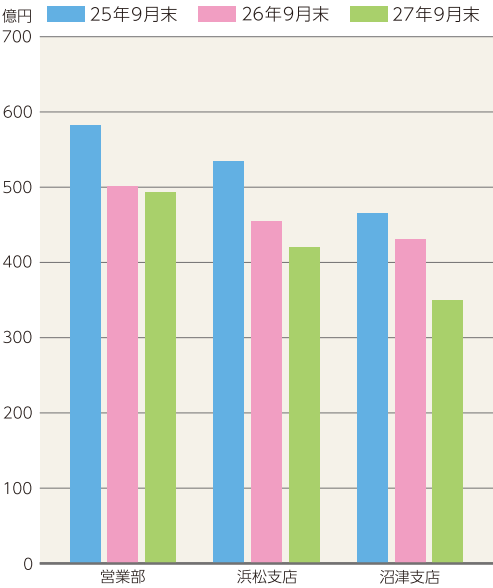
1 保証承諾

- 保証承諾は7,233件、683億円と前年同期比で件数92.1%、金額92.6%となりました。営業部では横ばい、浜松支店及び沼津支店では減少となっています。
- 制度別構成比では、普通保証34.4%の他、無担保当貸24.9%、当座貸越5000が11.6%、カードローン2000が5.2%と当貸3商品が4割強を占めています。
- 業種別構成比では、製造業27.1%、建設業26.8%、小売・飲食業15.1%の順となっています。

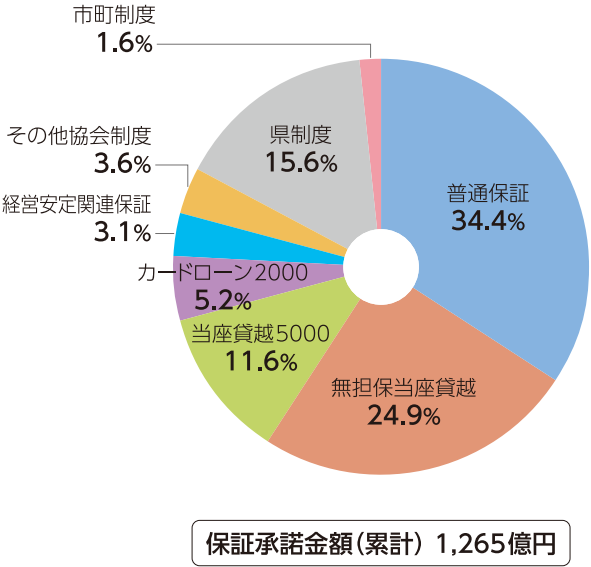
●月別保証承諾金額



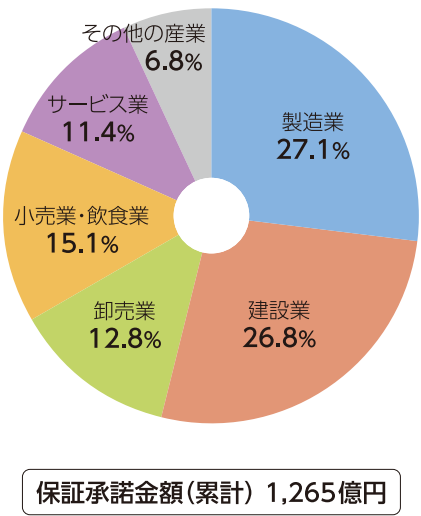
●本支店別保証承諾金額



●制度別保証承諾（構成比）



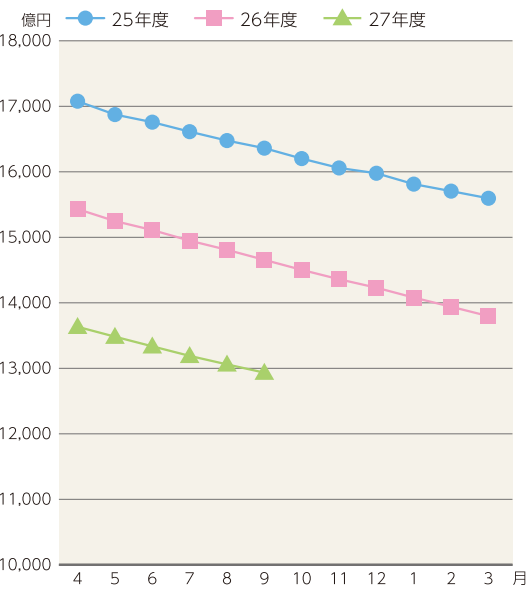
●業種別保証承諾（構成比）



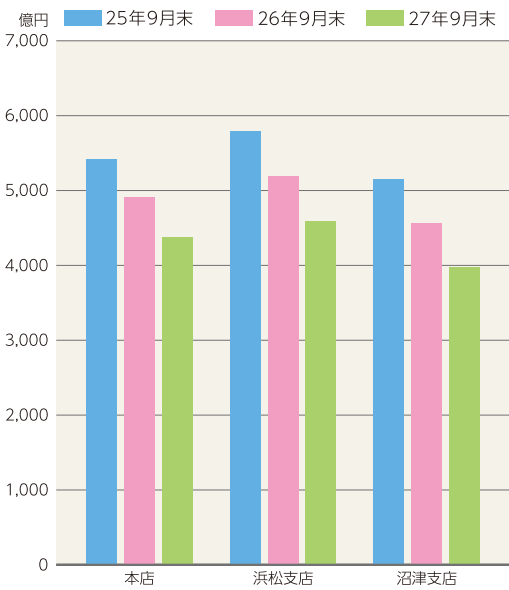
2 保証債務残高

- 保証債務残高は157,814件、1兆2,934億円と前年同期比で件数92.3%、金額88.3%となりました。営業部、浜松支店、沼津支店の3部支店で減少となっています。
- 制度別構成比では、普通保証22.5%、経営安定関連保証16.9%、県制度は23.5%となっています。
- 業種別構成比では、製造業30.3%、建設業23.4%、小売・飲食業15.7%の順となっています。

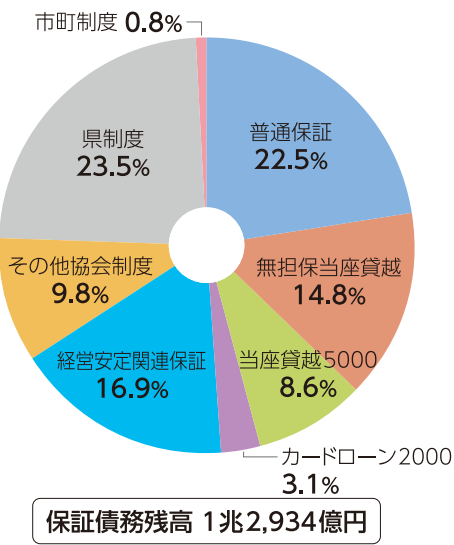
●月別保証債務残高



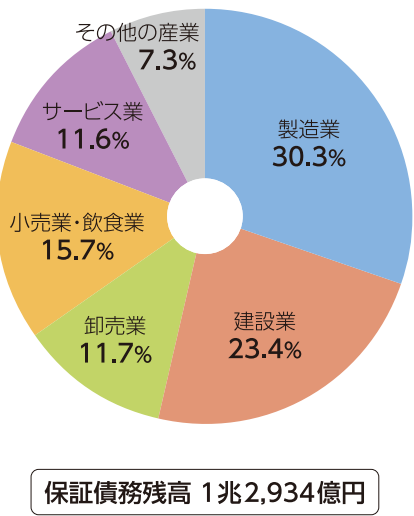
●本支店別保証債務残高



●制度別保証債務残高 (構成比)



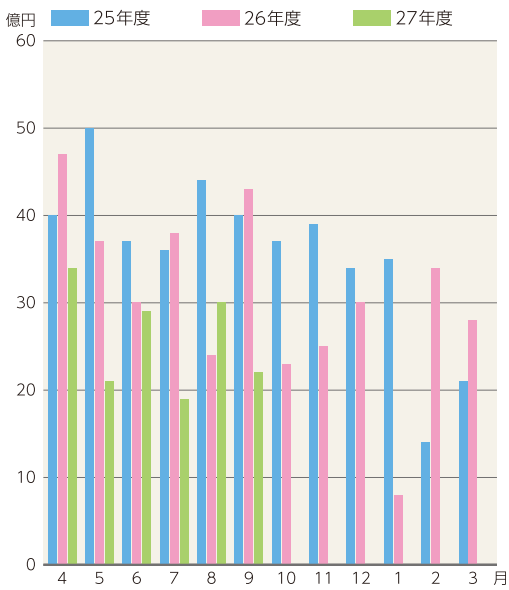
●業種別保証債務残高 (構成比)



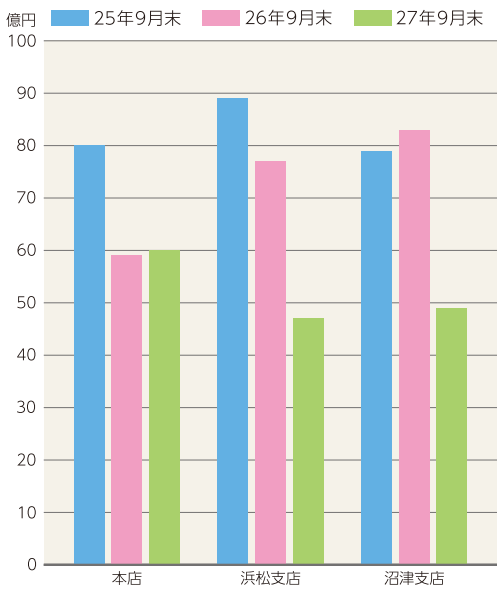
3 代位弁済

- 代位弁済については、801件、72億円と前年同期比で件数80.4%、金額67.9%となりました。浜松支店、沼津支店では大幅に減少しましたが、営業部では横ばいの推移となっています。
- 制度別構成比では、経営安定関連保証24.7%、普通保証22.6%、県制度は17.8%となっています。
- 業種別構成比では、製造業33.4%、小売・飲食業19.5%、建設業17.4%の順となっています。

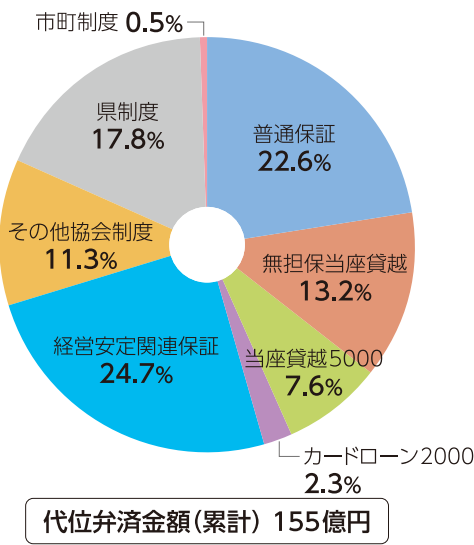
●月別代位弁済金額



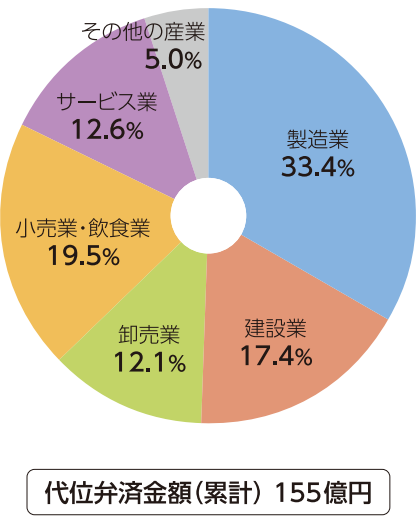
●本支店別代位弁済金額



●制度別代位弁済 (構成比)



●業種別代位弁済 (構成比)



料理を社会分業で支える。
母親の愛情にも負けない、
魅力が詰まった惣菜で。

あくなき良品づくりの追究
料理を科学する
農業を科学する

株式会社ヤマザキ
山崎寛治 代表取締役

蒲原町長（現静岡市）を平成11～16年まで務める。

訪れたピンチをチャンスに変え、 新たな転機に

「いまどき煮豆なんかを売りに来られても…」
商談で初めてイトーヨーカドーさんを訪れたときのことでした。「山崎さん、『料理を商品にする』という考え方、わかる？ これからは、この言葉を理解できる人と取引をする方針だけど」すぐに理解できました。「料理を社会分業で支える時代が来る」という意味だ。家庭料理を惣菜にして提供すればいい。弊社がやるべきことはこれだ。

2週間ほどで惣菜のサンプルを作りあげました。ほうれん草のゴマ和え、こんにゃくの白和え、竹の子の煮付けなど

です。どの料理も、作り方を聞くと面倒くさそうですが、実は簡単に作れるというものを選びました。

次の商談日。惣菜を目にすると、担当者はその場で「いつから納品できる?」と。40年ほど前。このとき弊社は、煮豆製造会社から総合惣菜メーカーに変わったのです。

家庭料理にも必ず訪れる、 社会分業の時代

人類を豊かにした道が社会分業である。私の信念です。家庭における「衣食住」を分業という視点で見てもしょう。「衣」は分業がおこなわれています。昔は母親が裁縫した服を着ていました。今、母親は店で服を購入しています。

「住」も分業により、自分で家を建てる人はいません。

ところが「食」だけは、今も、料理をお母さんが作っています。当然だと思いますか？女性の社会進出が当たり前になっている時代なのに…。おかしいと思いませんか。自分は料理にも社会分業の時代が必ず訪れると、40年前から信じています。

安全で、おいしい。朝、昼、晩、食べても家計に響かない価格。こうした惣菜を提供すればいいのです。これが叶えば、たとえ家庭で料理を作らなくなっても、愛情があふれる食卓の風景は変わらないのですから。

機械化の戦略、 「川上に上れ」という戦略

株式会社ヤマザキは総合惣菜メーカーです。きんぴらごぼう、ひじき煮、グラタン、フレッシュサラダなどを製造しています。現在、惣菜の種類は300種類以上。グループ全体の売上は約231億円。従業員は1500名ほど。セブンイレブン、イトーヨーカドー、ヨークベルマニ、さらに全国のスーパーマーケットに卸しています。



弊社は料理を計画的に、機械で製造することを推進しています。労働条件なども含めて、機械化が人々の暮らしを豊かにするからです。これは歴史が証明しています。

「川上に上れ」という戦略も実行しています。川上に上れとは、現状だけにとらわれず、事業の川上を極め、挑戦するという意味です。だから食品メーカーでありながら、農業生産法人を設立して農業を研究・実践。さらに堆肥処理施設を建設して、土づくりにも励んでいます。



「科学する」ことで、 あくなき良品づくりを追求

「料理を科学する。農業を科学する」。これがヤマザキグループの行動指標です。

科学とは何か?「再現性」です。誰がやっても必ず同じ結果になる。これが科学です。事業でも、同じ結果を出せるまで、努力を続けなければいけないのです。

特に農業は天候など自然の力に影響を受けます。それでも再現性の追及は、やめません。同じ品質の作物を毎年、作るための研究・改善を重ね、少しずつ成果が現れています。

料理も同様です。確実に同じ材料を手配し、毎回、同じ味を再現し続けています。

何度、失敗を繰り返そうと、歩みは止めません。社員一同、課題をクリアするための努力を、日々、続けています。

日本を豊かにするという、 明確な目標に向かって

私に夢はありません。あるのは、明確な目標だけです。

この事業で日本に、豊かさを与えたいのです。お母さんを、毎日の肉体労働から開放したい。お年を召した方を栄養失調から守りたい。そのために、母の愛情にも負けない魅力が詰まった惣菜を作ることに、こだわりぬいているのです。

料理の社会分業化には、まだ50年ほどの時間がかかるでしょう…。家庭で料理を作らないことが当たり前の時代になるまで、心を込めて事業を遂行していきます。

静岡県信用保証協会さんには、本当にお世話になっています。個人的な意見で恐縮ですが、「汗が価値を生む」という視点からも、企業を見極めていただきたいと思います。

企業データ



- 会社名／株式会社ヤマザキ
- 代表取締役／山崎寛治
- 所在地／〒421-0305 静岡県榛原郡吉田町大幡1643-1
- TEL 0548-34-2020 FAX 0548-32-7116
- 設立／1954年
- 事業内容／煮豆、惣菜、フレッシュサラダ、グラタンなどの製造
- 事業所・工場／吉田大幡工場、蒲原工場、蒲原第二工場、吉田川尻工場、北海道旭川工場
- 営業所／静岡営業本部、東京支店、大阪営業所、仙台営業所
- 関連会社／(株)ユニデリ、(株)ユニフーズ、(株)ヤマザキシステム

URL <http://yamazaki-grp.com/>

外部評価委員会を開催

平成27年7月10日、外部評価委員会をホテルセンチュリー静岡で開催しました。

外部評価委員会では、当協会の経営方針や経営計画の実績に対する自己評価について、委員の皆さまに中立的な立場から客観的な評価を受け、経営の透明性を高めています。



保証協会を取り巻く社会・経済環境の変化が著しい中、迅速かつ的確な業務運営が求められていることから、会議においていただいた貴重な意見を反映し、県内中小企業の発展に貢献できるよう努めてまいります。

株式会社日本政策金融公庫と業務連携に係る覚書を締結

平成27年7月13日、株式会社日本政策金融公庫（日本公庫）の静岡県内3支店と業務連携に係る覚書を締結しました。

今回の覚書締結は、日本公庫と当協会が中小企業者等の振興のため、資金供給、信用保証及び情報提供等の各分野に係る連携を円滑に行い、相

互に協力し、地域経済の活性化に寄与することを目的としています。

日本公庫、当協会共に静岡県内において、静岡、浜松、沼津の3か所に拠点を置いているため、各々の支店で情報共有を図り、質の高い企業支援ができるよう努めてまいります。



ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2015に参加

平成27年7月22・23日、アクトシティ浜松で開催された「ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2015」に参加しました。

同ビジネスフェアは、浜松商工会議所及び浜松信用金庫が主催し、250の企業・団体がブースを出展する県西部地区最大級の総合展示会です。

多数のブースが出展し、商品の販売や商談等が活発に行われる中、より多くの方に信用保証制度を知っていただくために、当協会でもブースを出展しPRを行いました。

当協会のブースにおいても、多くの方々に足を運んでいただき、様々な意見交換ができました。今回の貴重な経験を活かし、各機関との連携を深めな

がら、今後も地域企業の発展に貢献できるよう努めてまいります。



無料経営相談実施中

「保証協会の金融・経営相談」は営業時間内のほか、毎週木曜日は定例の夜間相談日として19:00まで受付時間を延長しておりますので、お気軽にご相談ください。

相談窓口コーナー Q&A

- Q** 従業員数が少ない企業を経営していますが、資金繰りの相談はできますか？
- A** 従業員規模を問わず中小企業の皆さまから資金繰りなど様々な相談にお応えしています。なお、当協会のご利用は、従業員数20名以下の小規模な事業者の方が94%を占め、保証件数は89%、保証残高は77%となっております。

参考に・・・

利用企業者のデータ

(平成27年9月末現在)

項 目	従業員20名以下の企業	従業員20名超の企業	合 計
企業数	49,984社	2,943社	52,927社
保証残高	9,903億円	3,031億円	1兆2,934億円
従業員	136,753人	178,538人	315,291人
組織形態	個 人：23,431企業 株 式 会 社：12,703企業 有 限 会 社：13,373企業 その他法人： 477企業	個 人： 36企業 株 式 会 社： 2,324企業 有 限 会 社： 509企業 その他法人： 74企業	個 人：23,467企業 株 式 会 社：15,027企業 有 限 会 社：13,882企業 その他法人： 551企業